

愛媛県におけるアワテコヌカアリの家屋侵入事例

原 有助^{1,2}・村上 裕¹¹愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター ²愛媛大学農学部生物有機化学研究室写真1 *Tapinoma melanocephalum* (Fabricius, 1793) アワテコヌカアリ(BCEJ-Ent 00035) (撮影:村上 裕)

種の記録

Formicidae アリ科

Tapinoma melanocephalum (Fabricius, 1793)

アワテコヌカアリ(写真1)

標本 3 exs., 愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター蔵(BCEJ-Ent 00035-00037), 松山市(旧北条市), 27. xi. 2023.

種の特徴

体長 1.5mm で, 体色は 2 色性を示し, 頭部, 触覚鞭節, 前・中胸側面, 前伸腹節, 腹部は褐色, 大腮, 触覚柄節, 前・中胸背面, 脚は淡黄色となる. また, 腹柄節は管状で明瞭な丘部がなく腹部第 1 節に覆われ, 前伸腹節は隆起せず, 触覚柄節は頭部後縁を越えることから(寺山ほか, 2014), 本種と同定した.

備考

本種は外来種として知られ, 原産地は不明であるが熱帯から温帯にかけて広域分布し, 北半球では亜寒帯まで見られる(Wetterer, 2009). 日本では南西諸島や小笠原諸島に分布し, 本土では 1926 年 11 月 21 日に大阪府で確認以降, 本州, 四国, 九州に広がっている(寺西, 1927; 寺山ほか, 2014; 久末, 2017). 本種はまた, 屋内に侵入し食料品を食害する家屋害虫としても知られている(寺山・奥谷, 1992; 辻, 2018). 今回, 検視した標本に基づき愛媛県初となる家屋侵入事例を確認したため, ここに報告する. 当該地域への侵入経路は不明であるが, 聞き取りによればおよそ 3 年前から見られていたとの話である. なお, 採集者名は個人情報保護のため非公開とする. 愛媛

県での本種の確認事例は 2017 年以來 3 例目となる(久末, 2017; 久末ほか, 2019).

謝辞

本報告にあたり, 標本および情報をご提供頂いた県内在住の方に厚く御礼申し上げます.

引用文献

- 久末 遊. 2017. アワテコヌカアリを四国で採集. 蟻, 38: 27-30.
- 久末 遊・久松定智・村上 裕. 2019. 愛媛県で2017年にヒアリモニタリング調査と情報提供によって確認された外来アリ類. 衛生動物, 70 (4):235-238.
- 寺西 暢. 1927. 大阪天王寺植物園附属温室の蟻類. 昆虫, 2 (1):51-53.
- 寺山 守・久保田敏・江口克之. 2014. 日本産アリ類図鑑. 278p. 朝倉書店, 東京.
- 寺山 守・奥谷禎一. 1992. 東京都内で得られたアワテコヌカアリ. 家屋害虫, 14 (1):7-8.
- 辻 雄介. 2018. 高知県の民家におけるアワテコヌカアリの記録. 蟻, 39:14-17.
- Wetterer, J. K. 2009. Worldwide spread of the ghost ant, *Tapinoma melanocephalum* (Hymenoptera: Formicidae). Myrmecological News. 12: 23-33.

(2023 年 12 月 28 日受付, 2024 年 1 月 12 日公開)

連絡先: 原 有助 (e-mail: hara-yusuke@pref.ehime.lg.jp)
(Yusuke Hara and Hiroshi Murakami. 2024. A case of house invasion by *Tapinoma melanocephalum* (Formicidae) from Ehime Pref., Japan. NS Fieldnote, 24002)